

STORE EVOLUTION



お客様とアリガをつなぐコミュニケーション情報誌

特集

STORE IMPACTS !!

✓ 今、注目すべき店舗

競争激しい北関東で健闘する地元密着型SM

八百半フードセンター 北部店

スーパーまるも 神立店

✓ エネマネ事業者活用補助金で投資額の1/2の補助金採択

- 実績店：『八百半フードセンター栗野店(株式会社八百半フードセンター)』
- 実績店：『スーパーまるも まりやま店(株式会社スーパーまるも)』
- 実績店：『やまのぶ若林店(株式会社山信商店)』
- 実績店：『Aコープかわべ店(紀州農業協同組合)』
- 実績店：『パントリーけいすけ 川南店(有限会社慶助)』



特集

様々なアイデアで年配客層のニーズに応える 八百半フードセンター 北部店

栃木県鹿沼市上田町2342



開店日：昭和44年11月
営業時間：AM9:00～PM8:00
売場面積：980㎡
駐車場台数：100台



“お惣菜バイキング”のコーナーには、乗せるだけで購入金額が判り、OKならばボタンを押すと会計用ラベルが出てくる計量システムが設置されている。あとは容器にラベルを貼り、レジへ向かうだけという簡便さだ。



8月下旬から秋口にかけて、「幸水梨」や「にっこり梨」が宇都宮の御子梨園からダイレクトに納入される。果物の地産地消を牽引する商品として期待されている逸品だ。



鹿沼にある仲田園芸が育成する、地場直送野菜の販売コーナー。鮮度の高い直送野菜は特に年配の方に好まれるほか、このコーナーだけで一通りの種類が揃うため、購入しやすい。



地元宇都宮の(有)大柿畜産が、自信をもって送り出す「みや美豚」。このブランドは(株)八百半フードセンターのみの取扱となっており、独自のプライベートブランド商品として広く支持されている。

客層の高齢化に備えた「個食化対応」と「地産地消」。

1999年に世界遺産に登録されて以来、栃木県の日光を訪れる観光客は増加し続けているという。(株)八百半フードセンターは、そんな日光市をはじめ鹿沼市・宇都宮市で9店舗を展開するCGCグループのスーパーマーケットだ。今回ご紹介する北部店は、JR鹿沼駅近くに位置する同センターの旗艦店で、なんと半世紀近

種類のお惣菜を少しずつ楽しみたい、という年配客層の声を反映し、ザーサイや珍味など家庭では作りづらいものを含め、多彩なラインナップとなっている。

もちろん衛生面でも抜かりはない。蒸気抜きで微細な孔を持つ開閉しやすいアクリルカバーでお惣菜を守り、抗菌仕

様の「トング」は1日に4回以上交換する。そして、全てのお惣菜のグラム単価価格が同じだから、価格差を気にせずを選び、少量ずつ多くの種類を気軽にチョイスできる。同コーナーに設置されている、乗せるだけで購入金額が判る計量システムも好評だ。

産地直送で、より新鮮な商品。

地産地消を推進する上で欠かすことができないのが、生産者と販売者との信頼関係だ。その点、(株)八百半フードセンターでは創業当初から地元生産者とのつながりを大切にしてきた。現在、出入り口付近の目立つ場所に“地場直送野菜”コーナーが設けられているが、地元とのつながりの強さを表す好例と言えるだろう。

同様に精肉や青果でも、数々の地元生産品を手描きのPOPでアピールしているほか、直取引の利点を活かして少量の小分け販売を可能にし、個食化にも対応している。

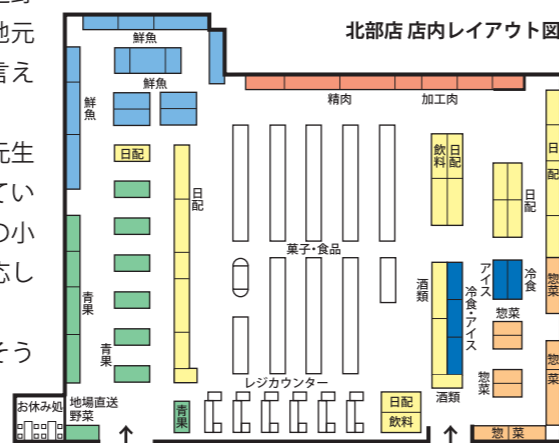
(株)八百半フードセンターではそうした地産地消の推進に加え、今後はCGCグループと共同で産地直送品

を増やす方針で、青森産のリンゴ直送などを計画中だ。それもまた、地元の人々により新鮮な商品を届けたいという思いがあつてのことなのだろう。



くの歴史を有している。少子高齢化の影響で近年は年配客の比率が高まっているというが、長きにわたり地元で愛され続けてきたからこそ、年齢を重ねても(株)八百半フードセンターを利用する、という固定客が多いのだろう。

北部店では、そうした年配客層の伸びに合わせ、「個食化対応」と「新鮮の地産地消」をテーマに掲げ、オリジナリティあふれる施策を打ち出している。このページの上段写真で紹介している“お惣菜バイキング”もそのひとつだ。いろんな



現在1日700本以上を売り上げる「ヤオハン牛乳」は、昭和40年代に地元酪農家の日光霧降高原大笹牧場(株)と共同で開発したプライベート商品だ。夏場には脂肪分を下げることから、1,000本を売り上げる日もあるという。

Voice

ビッグデータの活用が、今後の課題です。

当社では平成8年にグリーンスタンプに加盟して以来、20年以上もその恩恵にあずかっています。近年ではIT化により、会員のID番号から購買情報や来店者の属性が日時別にわかるようになり、より効果的な店舗運営に役立っているんですよ。

また、それとは別に当社には特売情報を配信しているスマートホン会員が9,000名おり、グリーンスタンプからのデータと組み合わせていかに活用するかが、今後の大きなテーマですね。

株式会社八百半フードセンター 代表取締役社長 片柳 伸一 様

特集

お客様の声に正面から取り組み店作りに活かす スーパーまるも 神立店

茨城県土浦市神立中央2-2-10



開店日：昭和44年11月
営業時間：AM9:00～PM9:00
売場面積：700㎡
駐車台数：70台



総菜コーナーでは、手作り商品の構成比をあげようと開発が進んでおり、人気の「手作りおはぎ」は午前中に売り切れる事もある。また創業以来大評判の「みそピーナッツ」は、全国の同業者へ出荷もしている程の人気ぶりだ。



魚を捌いている姿を見ながら買い物ができる鮮魚コーナーでは、高齢の方が中心の客層を意識し、少量パックのお刺身を多種取り揃えている。鮮度の高さは折り紙付きで、料理店主がサク単位で買っていくことも多い。



お勧め品をアピールするため、まるもではオリジナリティあふれるPOPを製作し掲出している。思わず目が止まり温かな気持ちになるPOPからは、お客様に買い物を楽しんでもらいたいと願う気持ちが伝わってくる。



まるもでは、電子マネー「CoGCa(コジカ)」による決済促進サービスを導入している。これにより利用者は使うたびにポイントが貯まるほか、店側もレジ会計のスピードが速くなるなど、多くのメリットが生まれている。

■ 大手には出来ない戦略で、地域に必要とされる店になる。

霞ヶ浦の西端エリアに位置する茨城県土浦市は、旧石器時代の遺跡が発掘されるなど、住みやすい場所として古くから賑わっていたという。二つ目の特集記事としてご紹介するのは、そうした土浦市を拠点に7店舗を展開する(株)スーパーまるもだ。

同社の創業は1969年。以来半世紀にわたり、地域のスーパーマーケットとして地元の人たちと二人三脚で歩み、現在はCGCグループの協業の理念に則り、地域に根ざした商品構成を目指している。今回取材した神立店について、(株)スーパーまるもの羽成社長は「歴史ある創業の店舗ですので、昔ながらの小さいお店ですが地域の皆様の為、一生懸命やっています。」と話す。

神立店の近隣には、大手スーパーが林立している。そんな環境のなか、神立店は生き残る手段として、それら大手が出来ないことを実現する方法で“地域に無くてはならない店舗”という立ち位置を固めてきた。その方法とは、お客様の声を

を全て受け止め、願いを叶えること。例えば取扱実績のない商品が欲しいというお客様には、迅速に導入しご案内する。決してNOは言わないというお客様本位の考えが、本物の信頼獲得につながったのだ。

■ 独自性を高め、次の半世紀を拓く。

神立店も例に違わず、客層の高齢化が進んでいる。お客様を第一に考えることがひいては自分たちの幸せにつながる、というポリシーのもと、同店では高齢のお客様が少しでも楽に過ごせるよう、様々なアイデアを実現してきた。

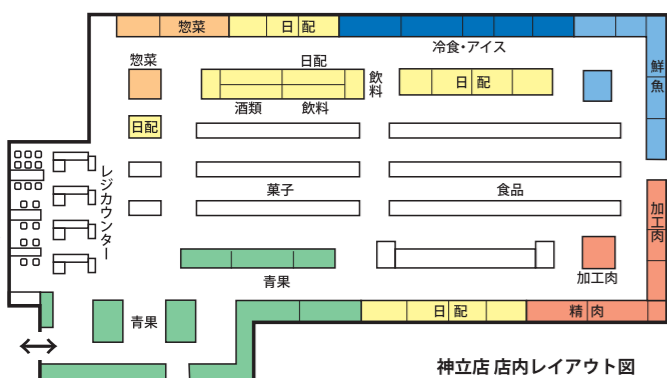
そのひとつが、店内のレイアウトだ。通路の幅を広げ取り、タテとヨコの動

体に目を移すと、高齢化対策に加え、いかにお客様の信頼に応えられるかという視点で今後の計画が練られていると



神立店 全景

いう。例えば、現在5%を占めるPB商品をお客様の声を反映させ20%まで高め、CGC商品と合わせて独自製品を40%にまでもっていく。すると大手との差別化が図れ、さらにお客様に支持される店になる。(株)スーパーまるもが迎える次の半世紀は、そうした未来戦略の実現により地域に根ざしたものになるだろう。

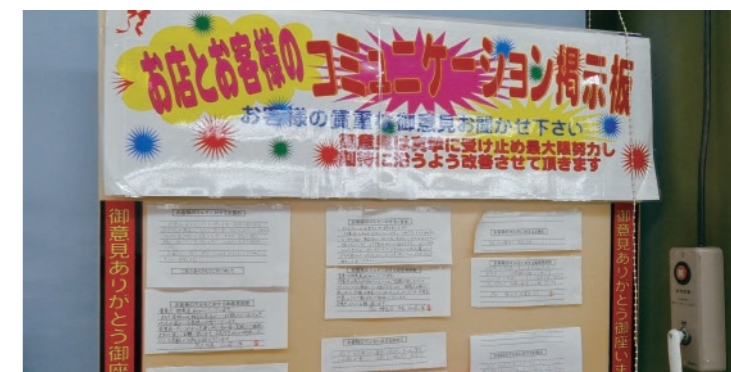


神立店 店内レイアウト図

線のためのシンプルな什器配置にすることで、ゆとりを持って行き来できるよう工夫している。またレジ横にはイートインスペースを設け、待ち合わせなど地域のコミュニティ広場としての役割を果たしている。(株)スーパーまるも全



神立店は、長い間ご利用いただいている年配のお客様が多い。そのためレジスタッフは、お客様が購入したものを確認できるペースで金額を入力し、買い物かごをサッカー一台まで運ぶサービスを自主的に行っている。



まるものサービス向上の原点は、お客様から寄せられる数々の意見だ。その全てがスピーディに社長まで届くほか、寄せられた意見には店長がアンサーコメントを記入して、店舗に掲示される。

Voice

お客様の喜びや感動が、会社全体の幸せになる。

当社の企業理念は、「お客様が楽しく買い物できる店づくり。従業員が楽しく働ける職場づくり。」です。お客様の喜びや感動が、私たちのやりがいと自信になり、結果として従業員の幸せが得られ、会社の発展に結びつく。そんなスーパーマーケットでありたいと願っています。

私個人はワインが好きで、美味しい品に出会ったら店に陳列し、お客様にも幸せな時間を味わってもらえればと思っています。

株式会社スーパーまるも 代表取締役社長 羽成 光弘 様





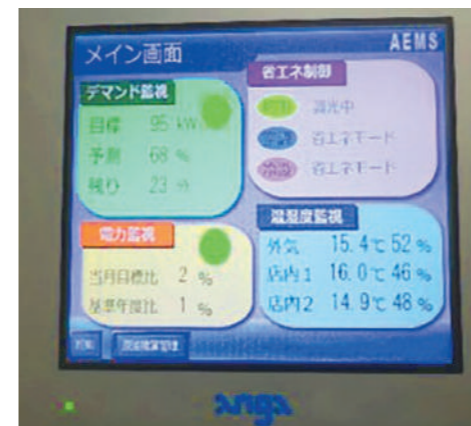
「八百半フードセンター栗野店」(店舗面積1,441.9㎡)がある栗野町は、宇都宮市の中心から20km程度西部に位置しており、周辺にはゴルフ場も数多くある市街地から離れた「山あい」の立地となっている。しかしながら「栗野店」は、付近の住民の方が通行する県道沿いにあり、買い物に不便をされているお客様にとっては、なくてはならない店として多くの支持を受けている。

「株式会社スーパーまるも」は土浦市を中心にスーパーマーケットを7店舗、惣菜工場直売所1店、お酒の専門店、居酒屋2店を展開しており、ご紹介の「まりやま店」は「スーパーまるも」の4号店として土浦市麻利山新田に平成10年12月に開店し、まるも1番の大型店として豊富な品揃えを誇っている。今回、「平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業」を活用してリニューアルを実施。また、リース会社との共同申請により、初期投資を抑えた事業となっている。



■トイレブースもリニューアルし多目的トイレも設置

八百半フードセンター 栗野店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成29年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 申請パターン《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	1. 照明・空調・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換えエネルギー使用の合理化を図る。 2. エネマネ事業者を活用し、省エネルギー計画の確実な実施と継続的な省エネ運用改善を行う。		
省エネルギー率	23.8%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約81,000千円	約73,345千円	約36,672千円



■省エネシステムのEMS表示・設定機器

スーパーマーケットまるもまりやま店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成29年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 申請パターン《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	1. 照明・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換え、エネルギー使用の合理化を図る。 2. エネマネ事業者を活用し、継続的な省エネルギーを図る。		
省エネルギー率	24.7%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約103,600千円	約99,265千円	約49,632千円



「株式会社山信商店」は、愛知県豊田市を中心に7店舗展開する地域密着型のスーパーマーケットであり、競合激しい商圏の中で積極的にリニューアルや、新規出店を実施している。

『商品に鮮度と安心を』という会社理念の下、「鮮度の良さ」、「お値打ちさ」、「有機野菜や自然栽培の果実」など「安全・安心で美味しい」にこだわった品揃えで消費者から多くの支持を得ている。

今回の「若林店」のリニューアルは「市木店」に続き、「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」の2店目の事業である。



生産者直売コーナーを設置

やまのぶ若林店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成29年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 申請パターン《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	1. 照明・空調・冷蔵冷凍設備を高効率設備機器に置き換えエネルギー使用の合理化を図る。 2. エネマネ事業者を活用し、継続的な省エネルギーを図る。		
省エネルギー率	25.8%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約120,397千円	約109,405千円	約54,702千円

「紀州農業協同組合」が展開する「Aコープかわべ店」(日高川町)は和歌山県のほぼ中央部に位置し、面積の9割以上が山林を占める自然豊かな町にある。

そのような立地の中で、農協としての強みである「管内・組合員の生産者コーナー」の拡充、また、安心・安全な地場野菜を中心にその素材を活かした加工品の販売等で、他店では真似できない産直コーナーの展開も強化し、お客様の大きな支持を得ている。

今回は「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」を活用し、「かわべ店」「ひだか店」「ゆら店」の3店舗のリニューアルを実施。



Aコープゆら店もリニューアルオープン

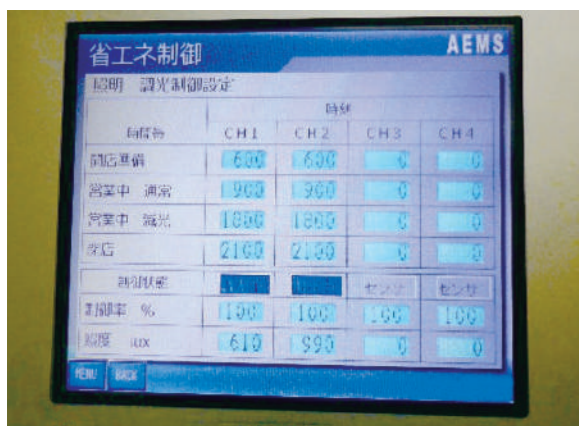
Aコープかわべ店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成29年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 申請パターン《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	1. 照明・冷蔵冷凍設備を高効率設備機器に更新し、エネルギー使用の合理化を図る。 2. エネマネ事業者を活用し、継続的な省エネルギーを図る。		
省エネルギー率	32.5%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約52,560千円	約49,284千円	約24,642千円



「パントリーけいすけ川南店」(店舗面積1,868.67㎡)のある川南町は宮崎市と日向市の中間、宮崎県の中央に位置し、温暖な気候と豊かな自然の中で全国有数の食料生産基地となっている。

その「川南店」は、川南町で収穫された、新鮮な野菜・果物・お肉・お魚を中心に地産地消を応援する、地域密着型のスーパーマーケットとしてお客様に愛されている店舗。

今回、補助金を利用し、リニューアルを行うことで顧客サービスの更なる充実を図っている。



省エネシステムのEMS表示・設定機器

パントリーけいすけ 川南店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成29年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 申請パターン《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	1. 照明・冷蔵冷凍設備を高効率設備機器に置き換え、エネルギー使用の合理化を図る。 2. エネマネ事業者を活用し、継続的な省エネルギーを図る。		
省エネルギー率	20.0%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約92,351千円	約89,931千円	約44,965千円

アリガ(エネマネ事業者活用等)申請支援による平成29年補助金採択実績

《対象の補助金》

平成29年度：エネルギー使用合理化等事業者支援事業

全申請数 1,034件 採択件数 411件 採択率 39.7%

アリガ申請数 15件 採択件数 15件(内1/3補助金1件) 採択率 100%

エネマネ事業者とは

「エネマネ事業者」とは、工場・事業所において導入された、省エネルギーに寄与する設備・システムや、電力ピーク対策に寄与する設備・システムなどに対して、エネルギーマネジメントシステム(以下EMS)を用いて、エネルギー管理支援サービスを提供し、事業者と共同でより効果的な省エネルギー対策を実施する者として「一般社団法人環境共創イニシアチブ」(SII)に登録された事業者です。

また、「エネマネ事業者」のEMSを導入し、エネルギー支援サービスを受けることで、最大1/2の補助金が交付されます。

店舗名	所在地	建築面積	補助率	補助金対象更新設備
協同組合 盛岡南ショッピングセンター	岩手県	8,005㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
びっくり市 新庄店	山形県	2,007㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ヤオハン栗野店	栃木県	1,442㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
スーパーマーケットマルモ まりやま店	茨城県	3,178㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
スーパーヤマザキ東久留米東口店	東京都	860㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ショッピングセンターエルサあづみ野	長野県	10,148㎡	1/2	照明・空調・EMS(エネマネ)
やまのぶ 若林店	愛知県	2,342㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ヤスサキ 松本店	福井県	2,405㎡	1/3	照明・空調・冷凍冷蔵設備
主婦の店 せぎやま店	三重県	2,240㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
NAGATA食遊館	兵庫県	955㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
Aコープ かわべ店	和歌山県	923㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
Aコープ ひだか店	和歌山県	1,060㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
Aコープ ゆら店	和歌山県	872㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ショッピングセンターアニー	佐賀県	2,880㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
パントリーけいすけ 川南店	宮崎県	1,869㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)

平成30年度「省エネ補助金」概算要求が決定

平成29年8月に省エネ補助金関係の概算要求が発表されました。

工場やスーパーマーケット等の事業所を対象とした、代表的な補助金である経済産業省所管の「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」等を含む予算は、下記の通りの要求額となっています。

まだ、決まっていない「平成29年度の補正予算」の内容如何によっては、決定額は変わる可能性があります、いずれにしても以前と同様に、大きな額になると予想されます。

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金

平成30年度概算要求額 733.5億円 (672.6億円)

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー 部
省エネルギー課
03-3501-9726

事業の内容	事業イメージ
<p>事業目的・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場、住宅、ビルにおける省エネ関連投資を促進することで、エネルギー消費効率の改善を促し、徹底した省エネを推進します。 ① 省エネルギー設備への入替支援 工場等における省エネ設備への入替促進のため、対象設備を限定しない「工場・事業場単位」(複数事業者が連携する設備入替も含む)、申請手続きが簡易な「設備単位」での支援を行います。 ② ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH:ゼッチ) の導入支援 ZEHの普及目標を掲げたZEHビルダーが建築等するものを対象に、現行のZEHよりも優れた断熱性能等を備えた建材・設備による省エネとともに、太陽光発電設備のより効率的な運用等によるエネルギーの自家消費拡大を目指したZEH等の導入を支援します。 ③ ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB:ゼブ) の実証支援 ZEBの実現・普及のためのガイドライン作成、ZEBを推進する設計事務所や建築業者、オーナーの発掘・育成等を目的に、ZEBの構成要素となる高断熱建材・設備機器等を用いた実証を支援します。 ④ 住宅の断熱改修による省エネ化 (省エネリフォーム) の支援 高断熱建材の価格低減・普及加速化のため、既存住宅の省エネ化に資する高断熱建材を用いた住宅の断熱改修を支援します。 <p>成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成42年省エネ目標 (5,030万kl削減) 達成に寄与します。 ① 新規採択事業の平均省エネ率13%以上を目指します。 ②~④ 平成32年までに新築戸建住宅の過半数のZEH実現と建築物におけるZEB実現及び、省エネリフォーム件数の倍増を目指します。 <p>条件 (対象者、対象行為、補助率等)</p> <p style="text-align: center;">補助 (①1/2,1/3 ②戸建:定額 集合:2/3 ③2/3 ④1/3)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国</div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民間企業等</div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事業者等</div> </div>	<p style="text-align: center;">事業者の省エネ取組を支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 工場・事業場単位での支援</p> <p>設備更新 省エネ事業費の活用等による効率改善 省エネ事業費の活用等による効率改善 省エネ事業費の活用等による効率改善</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>設備単位での支援</p> <p><高効率照明> <高効率空調></p> </div> </div> <p style="text-align: center;">ZEH/ZEBとは</p> <p>②、③ 大幅な省エネを実現した上で、再生可能エネルギーにより、年間で消費するエネルギー量をまかなうことを目指した住宅/建築物</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>エネルギーを極力必要としない</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エネルギーを上手に使う</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エネルギーを創る</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">住宅の断熱改修による省エネ化の支援</p> <p>④ 下記改修により、住宅の省エネ化を実現</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ガラスの交換</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>外断熱・内窓設置</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>天井・壁・床等の断熱</p> </div> </div>

INFORMATION

東京ビックサイト・幕張メッセ等で開催される展示会のご案内

1月31日(水)～ 2日(金)	フランチイズ・ショー 2018	FC本部やFC関連企業が加盟店・販売代理店・業務提携先を募集する展示会
2月14日(水)～ 16日(金)	スーパーマーケット・トレードショー	スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会
2月20日(火)～ 23日(金)	HOTERES JAPAN 2018	外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展示会
2月20日(火)～ 23日(金)	第18回 厨房設備機器展	セントラルキッチンを含む総合厨房・フードサービス機器の商談専門展示会
3月 6日(火)～ 9日(金)	FOODEX JAPAN 2018	“食”にかかわる最新情報とサービス
3月 6日(火)～ 9日(金)	JAPAN SHOP 2018	店舗装飾材、商空間デザイン、店頭マーケティング等流通業向け総合見本市
3月16日(金)～ 18日(日)	JAPANドラッグストアショー	ドラッグストアとその業界に関連するアジア最大級の展示会

お問い合わせ

STORE EVOLUTION

2018 winter vol.7

株式会社アリガ 広報誌編集室 発行責任者：三宅 耕平
東京都新宿区北新宿4-17-6 アリガビル Tel. 03-3364-2571(代)

<http://www.ariga-grp.co.jp/>

表紙写真：やまのぶ若林店/Aコープかわべ店